

阿波市 議会だより

第14号 [平成21年12月1日]

発行/阿波市議会 編集/議会広報特別委員会
〒771-1792 徳島県阿波市阿波町東原173番地
電話0883-35-4118 FAX0883-35-4150

平成二十一年第二回(九月)

阿波市議会定例会の概要

九月定例会は、九月二日から二十四日まで開かれました。開会日には、野崎市長から、台風九号に伴う集中豪雨による災害箇所早期復旧に努めており、今後とも防災力の強化、水害防止に向けた対策強化に取り組み考えなど、行政報告がありました。このあと、平成二十一年度一般会計、特別会計及び水道事業会計の決算認定、平成二十一年度一般会計補正予算などの議案について、提案理由の説明がされました。また、決算審査特別委員会が設置されました。

代表・一般質問では、十五人が市政全般について考えを問ひ、政権交代の影響、新型インフルエンザ対策、庁舎建設、農業振興などが議論されました。

閉会日には、委員長による各常任委員会及び決算審査特別委員会の審査報告があり、市長提出議案がいずれも可決・認定されるとともに、議員提案された「中山間地域等直接支払交付金制度の継続・充実を求める意見書」が可決されました。

代表質問

稲岡 正一 議員
(阿波みらい)



問 市勢づくりについて、市長はどのような阿波市を描いておられるのか。
答 基本的には総合計画の着実な実行ではないか。地方分権が進展する中、国が打ち出してくるであろう一括交付金を最大限活用して、阿波市発展のため知恵を絞ってやっていきたい。
問 公共下水道事業などの汚水処理について。
答 事業の形が少し変わって、弾力的に認められるというような感触もいただいております。県との調整をしながら、汚水処理検討委員会等で、今後の進め方について検討していきたい。
問 庁舎の進捗状況、市民懇話会の協議内容の進み具合は。
答 市民懇話会は二回開催し、庁舎の現状等を説明し、提案意見等をいただいている。議会の庁舎特別委員会、庁内の検討委

月岡 永治 議員
(志政クラブ)



問 政権交代による阿波市政への影響をどう考えているか。
答 地方分権、一括交付金などが一番の課題になると思っております。子育て支援等医療、福祉の面は有利に動くと思うが、公共事業等は心配もあるのではないかと。制度設計がはつきりするまで情報収集に努めたい。
問 阿波市地球温暖化対策実施計画について。また、一般家庭への太陽光発電システムの補助制度はどう考えているか。
答 今はソフト面の取り組みであり、目標値が小さく出ている。今回の経済危機対策で、公用車

江澤 信明 議員
(阿波清風会)



問 三宅副市長は、就任され阿波市の現状をどのように把握し、認識されたのか。また市職員の資質、能力向上について。
答 緑豊かな人情味溢れるまちで、子育て支援等福祉行政が充実し、着実な行政改革、堅実な財政運営がされていると感じている。若者が定着でき、市外から来てもらえる魅力あるまちづくりに尽力したい。市職員とは勉強会等を通し意思疎通を図

一般質問

笠井 高章 議員
(志政クラブ)



問 庁舎建設について、議会懇

阿部 雅志 議員
(阿波みらい)



問 農業政策に関し、休耕田対

香西 和好 議員
(公明党)



問 平成二十一年度農業委員会が耕作放棄地の調査を実施したところで、阿波市担い手育成協議会に資料を提供してもらった。協議会は、その資料をもとに所有者への意向調査を、今年度実施する予定で、調査結果をもとに耕作放棄地解消への事業取り組みを進めていきたい。
問 担い手対策について。
答 阿波市担い手育成総合支援協議会を中心に、農業後継者や認定農業者と連携し、国・県の補助事業を活用した事業取り組みを行い、儲かる農業、生計を立てられる農業を目指し、農業環境全体の整備を図りたい。
問 昨年度、国などに吉野川の無堤地区の解消、徳島道のゆずり車線の設置等を陳情したが、政権移行により事業が中止、見直しになった場合の対応は。
答 今年八月に策定された吉野川水系整備計画に、勝命地区の築堤が盛り込まれており、九月から事前調査の測量に入っている。また徳島道については、ゆずり車線の工事が実施の運びとなっており、政権交代により現在不透明ではあるが、国に対して十分要望していきたい。

吉川 精一 議員
(阿波みらい)



問 医療費の無料化を中学校卒業までに三年間延長してはどうか、一歩でも二歩でも前向きに取り組みむことができないか。
答 内部において趣旨に合った前向きな検討をし、阿波市にとって子育てでの医療費の軽減が、どのように市民の皆様には喜ばれるか十分検討したい。
問 土成IC駐車場の拡張について、高速道の利用を取り巻く状況の変化もあるかと思うが、用地の取得ができるならば、スペースを拡張して利用者の利便性の向上を図ってはどうか。
答 一日平均の利用者は、三社の計で七十五名程との調査の情報をもらっている。用地を含めた中で調査をさせていただき、協議、検討していきたい。
問 養護老人ホーム吉田荘について、民営化の方向で検討され

吉田 正 議員
(阿波みらい)



問 償還払いは患者にとって非常に不便とされており、利便性を考え二十二年四月一日から受領委任払いに変更したい。
問 現在十四回の妊婦無料健診は、時限立法で二十二年末までとなっているが、その後の対応は。
答 子育て支援の立場から、財政が許す限り十四回の妊婦健診を継続すべきと考えている。
問 乳幼児医療費助成制度の中学三年までの拡充と、入院を対象に中学生に助成する考えは。
答 財政状況を見きわめ、十分前向きに検討していきたい。
問 阿波市まちづくりの基本となる市民憲章の設置状況は。
答 現在本庁、支所はじめ七十二カ所に設置している。大切な市民憲章を広く市民の方に周知するためにも、今後公共施設に掲示をしていきたい。
問 現在市が書庫として旧阿波町役場庁舎は、昭和三十三年に建設し、現在まで大規模改修されず老朽化が激しい状況で、危険な施設となっている。この施設を今後どう維持管理するのか。また事故がないうちに災害時の緊急避難場所として更地としてはどうか。
答 旧阿波町庁舎は、合併時から書庫として使用しているが、耐震面からも解体等の早急な対応が必要で、新年度予算で撤去費を計上し、更地にして緊急時に対応できるように整備したい。
問 阿波町中ノ坪の芝生谷川橋は、県管理河川に架かる小規模な橋梁で、昭和初期に完成し現在も林小学校通学路として利用されているが、堤の中央部にある橋で、台風、豪雨のとき河川の氾濫による被害が大きい。今後県と協議を重ね、早急な対応を要望する。
答 市道居屋敷南整理線の芝生谷川に架かる橋は、県営事業で堤防の改修工事の際、橋の改修計画で位置が高く取合い道路の関係で改修出来ず、現在も橋の改修は厳しい状況と認識している。適切に水を防ぐ方法で仮設ゲートが設置可能か、今後県と協議し、検討したい。

策について。
問 平成二十一年度農業委員会が耕作放棄地の調査を実施したところで、阿波市担い手育成協議会に資料を提供してもらった。協議会は、その資料をもとに所有者への意向調査を、今年度実施する予定で、調査結果をもとに耕作放棄地解消への事業取り組みを進めていきたい。
問 担い手対策について。
答 阿波市担い手育成総合支援協議会を中心に、農業後継者や認定農業者と連携し、国・県の補助事業を活用した事業取り組みを行い、儲かる農業、生計を立てられる農業を目指し、農業環境全体の整備を図りたい。
問 昨年度、国などに吉野川の無堤地区の解消、徳島道のゆずり車線の設置等を陳情したが、政権移行により事業が中止、見直しになった場合の対応は。
答 今年八月に策定された吉野川水系整備計画に、勝命地区の築堤が盛り込まれており、九月から事前調査の測量に入っている。また徳島道については、ゆずり車線の工事が実施の運びとなっており、政権交代により現在不透明ではあるが、国に対して十分要望していきたい。

てきたが、計画の状況と今後の見直しは。また職員、利用者の方々も心配していると思う。快適な生活が送れるような取り組みをお聞かせいただきたい。
答 築三十五年が経過している。二十三年三月までに新設。その間は現施設を公募者に運営してもらおう段取りを進めている。新しい施設で老後生活を楽しく過ごすのが一番だと思う。

正木 文男 議員
(阿波清風会)



問 既質問事項について確認のための質疑 ①合併記念事業への取組み。②再編が予定されている阿波農業高校施設を活用した農業振興のための取組み。③合併特例債活用を念頭に置いたまちづくり中期計画の策定は。

答 ①平成二十一から二十二年度にかけ、スポーツイベントやふるさと出身アーティストの演奏等、各方面の意見を聞きながら取り組む。②地域に根ざした農業教育の場としての取り組みを県に要望していく。③各方面の意見を聞き取りまとめる。

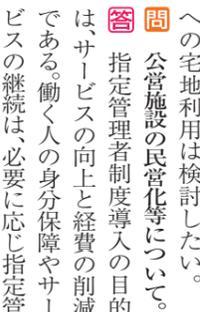
藤川 豊治 議員
(阿波みらい)



問 市長は農業立市を目指すとして述べているが、農業立市とは何を指すのか。担い手をどうするのか。

答 阿波市の主要作物、ナス、レタス、トマトが県下一で、百六十億円ぐらいの生産額を上げている。ブランドづくりのため、統一した基準と検査員を置いて、品種、品質の統一を決めたい。阿波市担い手育成総合支援協議会を中心に、魅力ある農業に取り組みしていきたい。

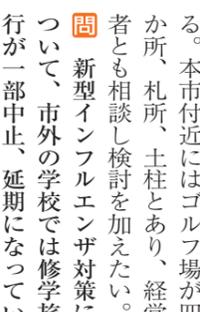
木村 松雄 議員
(志政クラブ)



問 阿波市の防災対策について、自主防災組織の状況は。

答 阿波市の防災対策については、自主防災組織の状況は。八月の台風九号による県道鳴門池田線土成支所入口交差点付近の水害排水対策は、また、吉野町、土成町の東方面への消防車、緊急車両がもっと早く現場に到着出来るよう、関係機関への要請を是非してほしい。

原田 定信 議員
(志政クラブ)



問 吉野川市と共同の市外での観光キャンペーンは、特産品の配布など非常に好評を得ている。本市付近にはゴルフ場が四か所、札所、土柱とあり、経営者とも相談し検討を加えたい。

答 新型インフルエンザ対策について、市外の学校では修学旅行が一部中止、延期になっているが、本市の学校の状況は。

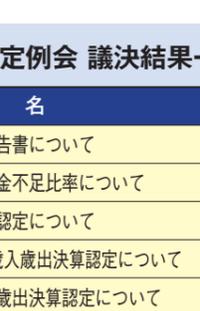
武田 矯 議員
(志政クラブ)



問 八月の台風九号による大雨被害に關し、地区別の農地、農作物、公共施設、道路の被害件数と、復旧の目途について。

答 私の意見として、心をもって、市も市民も一丸となって市発展のため尽くしてもらいたい。

池光 正男 議員
(日本共産党)



問 九月五日までの一週間に、インフルエンザが原因の休校、学級閉鎖が全国で七百七十二校と報道されていたが、ワクチン接種は、二回で六千八百円程になる見通しで、生活に困っている人などを救済する対策は。

答 国の補助対象から漏れた方々への補助について十分考えなくてはならないが、財政が伴う問題なので十分検討したい。



問 耕作放棄地活用について。放棄地は、平成二十年度の調査で、森林原野化している以外に約八十五ヘクタール存在している。二十一年度にも所有者の意向調査を行う。二十二年から二十三年にかけて農地に復元する。また、市民農園や若者住宅への宅地利用を検討したい。

答 公営施設の民営化等については、指定管理者制度導入の目的は、サービスの向上と経費の削減である。働く人の身分保障やサービスの継続は、必要に応じ指定管理者管理業務仕様書に盛り込む。

問 今後の行財政改革について。集中改革プランは、最後の五年目となり、取り組みの追加や遅れている項目を重点的に取り組む。また、行政サービスは市民の参画と協働の中で進め、サービスの満足度も調査し、行財政改革と市民サービスの調和を図りたい。

答 幼稚園の昼食について。給食は、すべての四歳児が幼稚園に在籍し、市内の学校給食が統一された時に検討したい。外注弁当は業者に改善をお願いする。また、親子の絆をつくる家族弁当をすすめたい。

問 庁舎の立地場所を決定する上での主要因について、市長はどのような考えをお持ちか。

答 庁舎は、合併の行財政改革の起点になると感じている。場所については、あわ北合併協議会の新市まちづくり計画に沿った決定が基本的な考え方で、用地交渉がスムーズに進む場所、面的確保ができること、物件補償が少ないことなどが最大の決め手になるのではないかと。

問 民営化等の取り組みに關し、旧板野郡と阿波郡とで違うごみの収集運搬について、どのような計画を持っているのか。

答 阿波町、市場町についても、将来は民営化を考えなければならぬとの認識を持っている。内部で費用対効果等を調査研究中で、今後、あり方検討委員会を立ち上げて検討したい。

問 吉野川市斎場への毎年の経費負担、八万円の料金と、四万円の各家庭への助成等について、スムーズな住民サービスの一元化を図るべきではないか。

答 同じ市の中で住みながら火葬料金が異なる状態は、早急に直さなければいけない問題だと思っている。火葬場管理組合の幹事会を早急に立ち上げて、吉野川市と協議していきたい。

問 北岸用水を利用し、阿波市で一カ所所へ要望している。

答 冬場の不耕作地の活用に関する。小麦は約九十五%を輸入している。CO₂を十軒あたり一トも削減する小麦について環境の面から考えてもらいたい。

問 庁舎建設について、開かれた市政を目指すならば、見直しも含めた意見を聞く場を持っていただきたいと思うが、どう考えられるか。

答 市民懇話会を立ち上げた意味は、会議の中で庁舎建設に向けてのいろいろな機能など、そういう意見をいただく場として考えている。

平成21年第3回(9月)阿波市議会定例会 議決結果一覧表

議案番号	議案名	議決結果
報告第3号	平成20年度阿波市一般会計継続費精算報告書について	承認
報告第4号	平成20年度阿波市健全化判断比率及び資金不足比率について	承認
議案第57号	平成20年度阿波市一般会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第58号	平成20年度阿波市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第59号	平成20年度阿波市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第60号	平成20年度阿波市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第61号	平成20年度阿波市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第62号	平成20年度阿波市伊予谷簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第63号	平成20年度阿波市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第64号	平成20年度阿波市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第65号	平成20年度阿波市特定環境保全公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第66号	平成20年度阿波市御所財産区特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第67号	平成20年度阿波市水道事業会計決算認定について	認定
議案第68号	平成21年度阿波市一般会計補正予算(第3号)について	原案可決
議案第69号	平成21年度阿波市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第70号	平成21年度阿波市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第71号	平成21年度阿波市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第72号	阿波市ケーブルネットワーク施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第73号	阿波市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決
議案第74号	阿波市乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第75号	土地改良事業の事業計画変更について	原案可決
議案第76号	反訴の提起について	原案可決
発議第2号	中山間地域等直接支払交付金制度の継続・充実を求める意見書について	原案可決

徳島県西部市議会連絡協議会 市議会議員及び事務局職員研修会(10月9日)

県西部4市議会の研修会が三好市で開催され、本市議会から13名の議員が参加しました。元全国都道府県議会議長会理事調査部長の野村稔氏による「地方議会の活性化と議員の責務について」と題した講演は、講師の地方議会の議事運営に関する豊富な知識、経験に基づく貴重なお話でした。

第4回全国市議会議長会研究フォーラム(10月21日、22日)

全国市議会議長会主催、総務省後援による研究フォーラムが、石川県金沢市において開催され、本市議会から議長はじめ16名の議員が参加しました。伊藤忠商事(株)取締役会長で地方分権改革推進委員会委員長の丹羽宇一郎氏による「日本再生の起爆剤 - 地方分権改革 -」と題した基調講演、「地方議会はどう変わるべきか - 首長と議会の新たな関係」をテーマにしたパネルディスカッションなど、これからの地方議会のあり方について広く討議されました。

議会たより 編集雑感

今議会も多くの議員が市政に対する代表・一般質問を、住民の負託にお応えすべく様々な角度見地から行いました。政権交代という今まで経験のない中で、限られた予算の中で如何に最大の効果を見いだすか、議会に課せられた責務は益々重要となってきています。

さて、今年の暦も残り一枚となりました。日本への暦の由来については、日本書紀に五三三年(欽明一四年)と記録されています。現在の太陽暦「グレゴリオ暦」を使用するようになったのは一八七三年(明治六年)からのことで、一月三日はカレンダーの日です。新型インフルエンザ対策を万全に、ご家族全員健康で新年を迎えられますようお祈りします。(木村)



活動状況報告